

## 「自然と人が共生する エコタウン・あげお」の実現をめざして



私たちのふるさとである上尾市は、かつて、武蔵野の雑木林や屋敷林、大小の河川に縁どられた田園など、多くの自然が残されていました。昭和33年の市制施行以来、田園都市から工業都市、住宅都市へと変遷しながら、現在、人口22万6000有余を擁する、埼玉県の中核を担う都市に発展してまいりました。その一方で、自然が減少し、大気汚染、水質汚濁、都市・生活型公害、廃棄物の増大など多くの環境問題が発生しました。

このような中、本市では、平成9年9月の「上尾市環境基本条例」の制定や、平成10年3月の「上尾市環境基本計画」の策定により、市民及び事業者の皆様とともに環境の保全と創造の活動に取り組んでまいりました。その結果、リサイクル意識の普及とともに廃棄物の量が減少し、また、河川の水質が改善しつつあるなど、一定の成果が表れてきたところであります。

このたび、第一次環境基本計画が計画期間満了となることから、平成32年度（西暦2020年度）末までの11年間を計画期間とする「第二次上尾市環境基本計画」を策定しました。本計画をより実効性のあるものとするために、市の取り組みについては環境指標と活動指標を設定し担当部署を明記したうえで進行管理を行うとともに、「重点プロジェクト」として3つのテーマを設け、環境に配慮した行動を実践していくこととしています。

地球温暖化の進行が指摘され、生物多様性の保全が求められる中、かけがえの無い豊かな環境を次世代に伝えていくために、私たちには、できることから始めることが求められています。本計画の理念である「自然と人が共生する エコタウン・あげお」の実現に向け、市民及び事業者の皆様におかれましては、本計画にお示しした「行動指針」を参考にしながら、それぞれの立場において取り組みを進めていただきますようお願い申し上げますとともに、行政との協働の取り組みにつきましては、どうぞ積極的にご意見をお寄せいただきながら格別のご協力を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

結びに、上尾市環境審議会委員の皆様、環境づくり市民会議委員の皆様、素案についての市民コメント募集などを通じて貴重なご意見をいただいた市民及び事業者の皆様、市議会議員の皆様をはじめとする関係者の皆様から感謝を申し上げます。

平成22年3月

上尾市長

島 耕 徳